

あしっ 育成だより 5

立教 181 年 1 月 23 日発行
編集 / 芦津大教会育成部

特集 ①後継者講習会 受講者の声 ②青年会創立 100 周年

《親のことば》

教祖の教えを素直に実行する

世界の人々に、親神様、教祖の思召を伝え広め、一日も早く陽気ぐらしの世界が実現するよう、その御用に力を尽くすのがあらきとうりようの使命であります。

その使命を十分に果たすためには、まず、自分自身が教祖の教えは絶対に間違いないと確信することです。そして、素直に実行し、ご存命の教祖のお働きを十分に頂戴しなければなりません。

(立教 173 年「第 86 回天理教青年会総会」における真柱様お言葉より)



心の向きを変えて わくわくした人生に！



自分に矢印を向けて

昨年8月28日よりおぢばで開催中の「後継者講習会」。12月の第15次までで、芦津から200名もの若者が受講しています。

受講者の年齢は40歳から20歳までと幅広く、教会長、主婦、会社員、学生など立場もさまざまですが、異口同音に「受講して本当に良かった！」という感想を述べています。

この講習会では、陽気ぐらしに向けて自分は何ができるかを、教えに照らしながら、自分に矢印を向けて考えることを促されます。「自分に矢印を向ける」とは、常に物事を主観的に捉え、すべ

ての出来事は、人のせいではなく、自分の問題だ、という意識を持つこと。そして自分の周りに起こるさまざまな出来事を「自分に矢印を向けて思案する」ことが、クラスミーティングや講義を通して示されます。その結果、受講者たちは、自分自身の足りない部分や、日々頂くご守護の有り難さ、周囲に支えられていることに気づき、感謝の心とご恩報じの心とを携えて、講習会を終えるのです。

大教会では受講前にアンケート用紙を渡し、講習会中の空いている時間を利用して、記入をお願いしています。受講中の自分の気持ちを文字に表すことで、

受講者は頭の中を一度整理し、心に定着させます。そこには、**「不足していたことを『もっとこういう気持ちで受け止めよう』と前向きな気持ちになれた」**（男性）

「私にとって苦手な人は、自分を成長させてくれる人」（女性）
と、自分の内面に向けた意見を書く方が多くいます。



プログラムでは、クラスミーティングが好評で、同じ世代の者がお互いの気持ちを語り、聴くことが、受講者の気持ちにプラスに作用しています。

「価値観を変えていただいた気がします」（男性）

詰所と大教会には「後継者講習会受講者アンケート」が張り出されています。芦津という木に、「受講者の声」が花や実となって茂る様子を描いたもので、講習会で心に残った言葉や今後の決意などが表れています。



仲間との交流を通して

また、良かったこととして「お道の仲間と知り合えた」ことを、多くの受講生が挙げています。

「初日は涙が出るほど帰りがよかったけど、最終日には、あと3日ぐらいあったらいいのに、と思うようになりました」(女性)

という意見も見られ、お道を信仰する仲間を得たことは、今後の信仰にも影響を与えそうです。

クラスミーティングでは、初対面なのに励まし合ったり、似



クラスミーティングの様子

た境遇の人と同じ班になったりと、不思議を感じる方も多いようです。

「悩んでいたことを話すと、みんなから助言をもらえて、本当に嬉しかった」(女性)

「同じ班に自分と同じ夢を持つ人がいて、話ができた。神様のお引き寄せを感じた」(女性)

さらには、宿舎で同室になった芦津の仲間や、講師、世話係、宿舎係といった周囲の世話取りに感謝するコメント、そして普段気付かなかった配偶者への感謝の言葉も多く見受けられます。

「妊婦で子連れでしたが、スタッフやお部屋の方にサポートしていただいて、無事に通ることができました」(女性)

「子育てに頑張っている奥さん方の話を聞いて、家内への感謝の



受講後、詰所での会食の様子

思いが湧いてきました」(男性)

講習会のプログラムやお道の仲間との交流を経て、受講前と後とで、心や行動が大きく変わった教会長子弟もいます。

芦津大教会では、受講次ごとに SNS の LINE を利用したグループを作成。終了後の集合写真や、大教会からの連絡などを送信しています。その中で、グループ内で大きなふしを頂いた方を励まし合うなど、受講生同士がその後も交流を深めている例もあります。

教会の役割

受講者たちは、この講習会で多くの喜びと決意を持って地元へと帰っていきます。教会は、受講生の熱意が冷めないうちに、できるだけ早く、本人と対話する機会を作ることが大切でしょう。講習会の感想を尋ねるだけでも、本人の教会に対する思いが変わってきます。

その上で、教会の御用を何からでも勤めてもらえるよう、こまめに声をかけることが大切で

す。人によってできることや得意なこと、御用の内容はさまざまでしょうが、講習会での決意が実践できるよう、教会からも後押しやアドバイスを送りましょう。

また、大学生には「学生生徒修養会 大学の部」、卒業や転職などの転機を迎える方には修養科など、おちばでの学びの場を勧めることや、青年会や婦人会・女子青年などの会活動、上級教会や所属教会の御用、同じ地域に住まう方との支部活動などへ

の参加を促すなど、若者が成人できる機会はたくさんあります。こうした既存の行事や活動を活用し、「教会になくてはならない人材」へと育てるために、若者に常に目と心を配り、声をかけ続けていきましょう。

※後継者講習会は、3月末まで開催されますが、まだ**新規での受け付けが可能**です。

未受講の方がおられましたら、芦津大教会担当者・石川健郎(06-6702-1980)まで、ご連絡をお願いします。

心を動かせ 世界を拓け

—— 100 周年を迎えた青年会の新たな挑戦

布教と求道、伏せ込み

天理教青年会は、今年 10 月に創立 100 周年を迎えます。

明治 40 年代、信仰 2 代目の若者たちに、自らの信仰確立を目指す自主的な動きが生まれました。自ら道を求め、この道を広めていきたいという情熱は、各教会を拠点とした自主的活動へと発展し、やがて全国各地に青年の会合が結成されていきます。

そして大正 7 年。天理教校の設立など、若者の育成に心血を注がれた初代真柱様の五年祭を

機に、それぞれ独自の活動をしていた各教会の青年会が団結する機運が高まりました。その年 10 月 25 日、天理教青年会は誕生しました。

青年会の元一日には、道の次代を担う若者を常に成人へと導こうとされる親神様、教祖の親心、その思召を体した初代真柱様の思いと、自分たちで道を広めていきたいという青年の熱意と強い意志がありました。

創立後は、男子会という性格から、婦人会と並んで本教の羽翼として期待され、特に二代真

柱様が青年会長に就任されてからは、海外布教に向け、道なきところに道をつける開拓者＝あらきとうりようの使命をもって、活動を進めてきました。

終戦後は 40 歳以下の若者の会として再出発。一頓挫した海外布教の反省から、外への向けての布教と同時に、自らの心をも開拓する求道の両面が強調されるようになり、教祖 70 年祭前に「おやさとふしん青年会ひのきしん隊」が結成されると、ちばへの伏せ込みにも力を注ぐようになりました。

100 周年活動

100 周年に向け、天理教青年会は「心を動かせ 世界を拓け」というスローガンを掲げ、布教面では「胸から胸へのにをいがけ」を、求道面では「日々の陽気ぐらしの実践」を活動の軸に据えています。

「胸から胸へのにをいがけ」は、「その方に本当にたすかっていたきたい」という思いをしっかりとって、布教に当たることが主眼です。一人ひとりが、これ

までのにをいがけを省みて、人だすけに歩かせていただく。

そして、他人に良い「にをい」を掛けるには、自らが陽気ぐらしを実践することが大切です。後継者講習会のテーマと同じ「日々の陽気ぐらしの実践」は、教祖のひながたを辿ることにも通じます。

さらに布教面での具体的な動きとして「初参拝者」をお与えいただくことを目指しています。初参拝とは、教会、布教所など、神様が祀られているところに未

信の方をお連れし、神様のお話を聴いていただくもので、芦津分会では、「1 人が 1 人の初参拝者を」との合言葉のもと、10 月の記念総会までに初参拝者 500 名を目標に、布教活動を展開しています。



記念総会は 10/28

昨年の青年会総会席上、青年会長の中山大亮様は、100 周年活動について「自分の心を変え、すべての人に喜んでもらえるような言葉遣いや行いを実践すること」を促され、感じた喜びを未信の方に伝え、教会へとつなぎ、おたすけを重ねることを実践しよう、と仰せくださいました。そして「あらきとうりようから、おたすけの連鎖を生み、100 周年というまたとない旬を機に、この世界を陽気ぐらし世界に近づけていこう」と呼びかけられ



ました。

今年の青年会総会は、「100 周年記念総会」として開催されます。一人でも多くの会員が総会に参加できるようにと、日曜日にあたる 10 月 28 日の開催です。

大亮様が青年会長にお立ちくだされて以来、青年会はこれまでになかった新たな活動を進めており、そこには多くの若者の喜び勇んだ姿があります。

青年会員の活躍は、そのまま教会の勢いになります。一人でも多くの青年会員を掘り起し、陽気ぐらしを実践する「あらきとうりよう」に育つよう、青年会活動への参加を促しましょう。

記念すべき瞬間を仲間と共に体感しよう。

創立 100 周年記念
第 94 回天理教青年会総会

2018.10.28 (sun)

CLOSE
UP!

おぢばの学校に通う教会長子弟、 保護者の交流会を開催

POINT 学生だけでなく、保護者同士の交流も

昨年 10 月 25 日、詰所 5 階会議室で、「教会長子弟管内学生保護者交流会」を開催しました。

以前より、学生同士の親睦会はありましたが、「保護者同士の交流の場があると有り難い」との意見があり、学生、保護者とも参加できる交流会を企画しました。大祭前日の平日ということで、残念ながら天理高校 2 部生は参加できませんでしたが、天理高校生、教校学園生、天理大学生、天理医療大生らが参加。遠方からの保護者も大勢ご参加くださいました。大教会長様からおぢばで学ぶ意味についてお話を頂き、その後、全員で会食。お鍋を囲みながら、学生同士、また保護者同士の情報交換の場ともなりました。



大教会長様のごあいさつ



学生同士も親睦を深める



3月3日(土)～9日(金)

学生会

学生生徒修養会 大学の部

- 場所 本部施設
- 内容 教理の学習（講義・講話）、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、鳴物、おてふりなど
※期間中、別席を1席運べる日を設定
- 費用 9,000 円
- 受講資格 大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校（4年生以上）



3月28日(木)

学生会

春の学生おぢばがえり

- 芦津直属隊
26日 15時受付開始 15時30分開会
～28日 16時30分散会予定
- 場所 芦津詰所
- 内容 オリエンテーション、前夜祭・式典参加、直属アワー
- 対象 高校生（新1年生を含む）、大学生、短期大学生、大学院生、専門学生など



3月10日(土)～12日(月)

学生会

学生生徒修養会 高校生卒業コース

- 場所 本部施設
- 内容 講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事 など
- 費用 4,000 円
- 受講資格 平成28年度高校卒業予定者



3月29日(木)～31日(土)

少年会

わかぎの集い

- 29日 12時受付開始 13時開講
- 場所 芦津大教会
- テーマ ワカギ100%!
- 内容 おつとめ練習、グループタイム、ひのきしん、レクリエーション、会食など
- 対象 よふぼく子弟のわかぎ（中学生）



3月31日(土)

少年会

第48回少年会芦津団総会

- 午前10時開会 受付開始8時30分
- 場所 芦津大教会
- 内容 おつとめ、総会式典、成人門出式、お供え作品展 お楽しみ行事（食事・ゲーム模擬店、ステージ）

人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



●親の品格／坂東眞理子著 ●PHP新書 ●778円（税込）

いい人材を育てるには3つの「き」が必要。まず「期待する」。そして「機会を与える」。そして「鍛える」。人は期待されて、機会を与えられて、鍛えられることで育っていく。

本書は2007年にベストセラーとなった本の新書版。少子化、核家族化、共働きでむずかしくなった親子関係のあり方を、60の例をあげて語ります。子供は必要な時期に必要なことをしなければ育ちません。著者の体験を基に、育成の実際が書かれており、子育て中の若い人に読んでもらいたい本です。

①後継者講習会 受講者の声 ②青年会創立100周年

あしっ 育成だより 5

立教181年1月23日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部